

7-9
JULY to
September

セットアップ、オープンカラーシャツ、ストライプ……
味付けはレトロで整えよう。

目をつけておきたいのはセットアップ。決してカッチリ系ではなく、オーバーサイズのものを選び、オープンカラーシャツをあわせるとリラックスな雰囲気。ストライプは太めのもの、ロゴはクラシックなもの、ナイロン素材のジャケットなどレトロなアイテムを選ぶと、どのテイストでもとって今っぽくなる。狙うは80年代の古着！ビッグシルエットの半袖ポロシャツやハーフジップのマウンテンパーカーを見た日には、エモが心に棲みつくだろう。



MI-CHAN san

黒に唯一ひけを取らない色がネイビーだとディオールも言っていた。レイヤーとルーズをコンセプトに、小物で随所に「抜け」と「締め」の演出しよう。夏本番でも余裕の表情ができる。



AOL san

いつものデニムより2トーンくらい色味を上げたワイドデニムはロールアップの幅を広めに、素足を見せると涼やか。ネイビーを締めめに、リゾート感溢れる中でも上品さを忘れない。



KIMAGURE Prince san

無難を流行にアップデートさせる、ワイドなシルエットが魅力のスウェット。落ち気味のショルダーとたっぷりの布は、ボトムをコンパクトにしてバランスを取ろう。足元はデニスファッション的なドレス感を意識。



MI BAN SENJI san

シンプルで定番のアイテムも、組み合わせと色味を工夫すれば途端に流行り顔に。ベージュと黒に色数を絞って、シルエットに緩急をつければ体型カバーも叶うお助けファッション。



FORGERU san

アイテム選びがスパイスになった全身ゆるゆるコーデ。ワイドデニムは切り替えと、切りっぱなしの裾が良い味に。とろみのあるシャツは見るだけでエモいので心の弱い物が着ると情緒が崩壊して泣く恐れがある。

最優先事項は
楽かんか否か

RING-SUMMER